

広報

かわべ

109

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場企画室 ■ 印刷 / 中部印刷 K. K



『水が来たぞ!』鹿塩地区で待望の上水道通水式

鹿塩地区で進めていた上水道建設工事がこのほど終わり、4月22日、同地区で通水式が行われました。「これで安心して水が使える」と、たびたびの水不足に悩まされていた同地区の人たちも、喜びに目を輝かせていました。【写真は通水式で消防団員が放水する水を見つめる地区の人たち=鹿塩】

おもな内容

- 新年度予算決まる 2~5ページ
- 母子保健推進員が誕生 6ページ
- 農地転用は事前協議を 7ページ
- 注意／子供の事故 8ページ
- 確定申告が間違っていたら 9ページ
- 街の話題 10~11ページ
- ぐるうぶ紹介 12ページ
- わたしたちの作品 13ページ

人口の動き

総人口	10,463人(-16)
男	5,162人(-5)
女	5,301人(-11)
世帯数	2,505戸(-2)
転入	73人(+49)
転出	90人(+48)

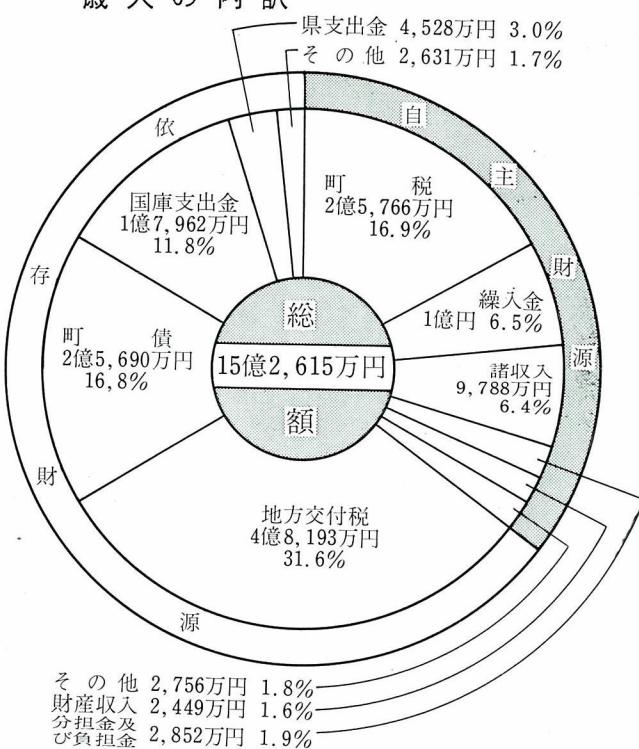
=3月末住民登録人口より
(カッコ内は前月末比)

00万円ことしの予算

県への依存率

一般会計

歳入の内訳



した。予算額は一般、特別、事業会計合わせて前年度当初を約八千九百四十万円上回る二十億三千百六十円で、伸び率は四・六%となっています。新年度予算是、統合小学校建設を柱とした積極的な財源重点配分予算となっています。予算編成に当たっては、現在の厳しい経済状勢を踏まえて、節度ある財政運営を基本にしました。

一般会計予算は十五億一千六百十五万円と決まりました。予算規模は、前年度の当初予算額十二億九千七百三十四万円と比べてみると、二億二千八百八十一万円多く、伸び率は一七・六%になります。新年度の予算規模は、二年前と比べると二・七倍、また、ここ十年では実に十・五倍になつていま

国保の国民健康保険事業特別会計予算は二億一千五百七十九万円で、前年度より一千五百八十五万円多く、七・九%伸びています。

国・県支出金は一億二千六百七
万円で、収入総額の五八・四%を
占めています。また、昨年行った
保険税率の改正によって、被保險
者の負担が増えるのを避けるた
め、一般会計から一千百五十万円
の繰り入れを行いました。
支出で最も多いのは保険給付費
の一億九千七百七十三万円で、支
出総額の九一・六%を占めています。
その内訳は、療養給付費一億
八千五百四十四万円、療養費百六十
九万円、高額療養費九百八十一万
円、助産費三百三十九万円、育児手
当金三十三万円などです。
このほか、低所得者の負担を輕
くするための高額療養費の立て替
え制度についても、実施の方向で
検討しています。

園事業、道路事業などの建設事業を前面に打ち出し、社会資本の充実と生活基盤の整備を進めていきます。

また、福祉行政など一般行政費への影響をできるだけ少なくするため、五十二年度に引き続き、財政調整基金の投入を図ります。

歳入のうち町税は、長引く不況により大きな伸びは期待できません。特に法人税は、昨年秋以来の円高不況のため全く停滞しています。そのため、前年度決算予定額に比べて四五%の落ち込みをみな

三月の町議会定例会で、五十三年度予算が決まりま

伸び率は17・6%

特別会計

國 保
五十三年度
の国民健康保

ければなりませんが、全体としては前年度より三千四百五十八万円多い二億五千七百六十六万円を計上しました。伸び率は一五・五%で、予算の一六・九%を占めています。

地方交付税については、地方税の伸びが低いことと、公共事業を大幅に伸ばすため、前年度より九千九百八十八万円多い四億八千百九十三万円を見込みました。地方交付税は予算の三一・六%を占め、前年度比二六・一%の増加を示しています。財政収入の確保を図るため、地方交付税と合わせて使用料及び手数料の適正化を進めます。

事業費に対する補助金はすべて掘り起こし、公園事業補助金四千五百円なども計上しています。

消	公
防	防
債	債
費	費
農林水産業費	農林水産業費
五、八〇八万円	六、九九六万円

15億 2,0

大きい団・

八百万円、統合小学校新築事業補助金四千七百二十七万円などを含めた国庫支出金は一億七千九百六十二万円を計上しました。予算額は前年度の九千百四十七万円より八千八百十五万円多く、九六・四%と大幅な伸び率をみせていました。

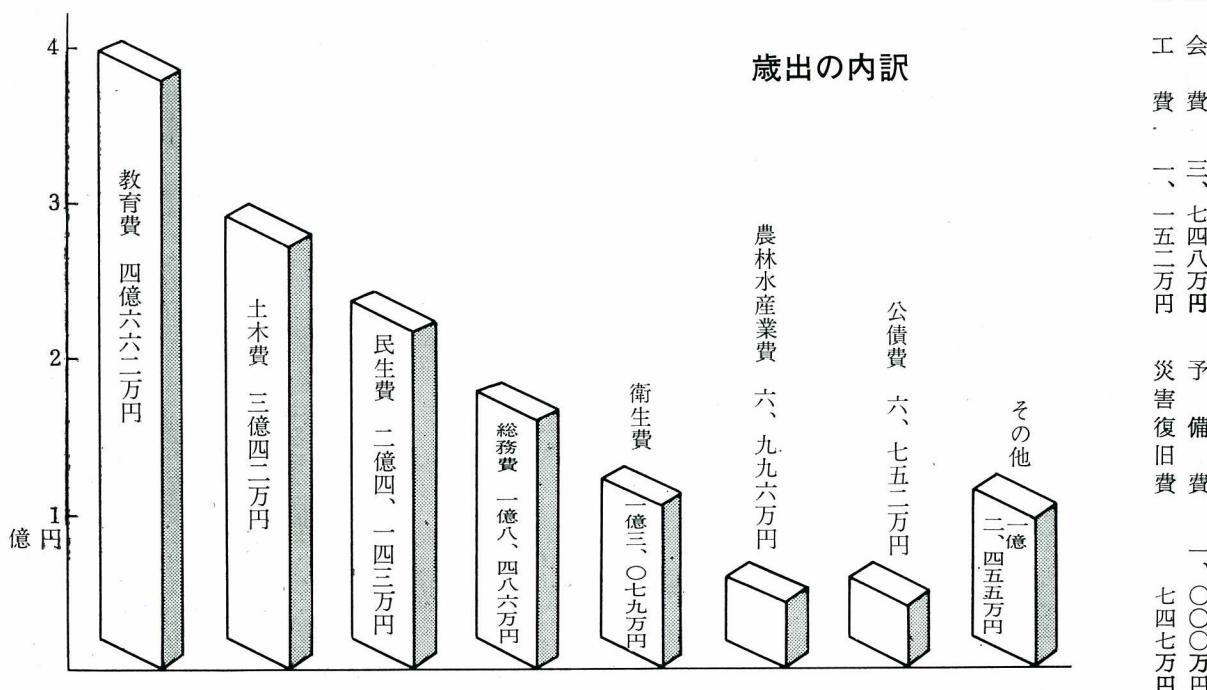
自主財源は35・1%

新年度予算は、六四・九%を国や県に依存しており、町自身でまかなう自主財源は三五・一%にすぎません。前年度の依存財源は五九・七%でしたから、新年度はますます国・県への依存率が大きくなつたわけです。

経費の節減図る

歳出については、極力経費の節減を図り、根幹事業への重点配分を図りました。予算の使いみちをおもな性質別に分けると、普通建設事業費五億三千五百二十八万円、人件費二億八千七百二十四万円、補助費等一億三千九百二十六万円、物件費一億八百三十三万円などとなっています。

また、目的別に分けると次のようになります。



一千五百五十六万円で、前年度より百九十六万円多くなっています。おもなものとして、麦・蚕繭保険料七万円、水稻・麦・蚕繭・死癪・病傷共済金四百六十九万円などがあります。

学校給食

学校給食共同調理場特別会計予算は四千八百七十五万円です。収入のおもなものは、学校給食事業収入四千八百六十九万円で、支出のおもなものは、給食の原材料費四千八百六十九万円です。

水道事業会計

上水道事業は四十七年度に着手して以来、十二億円の巨費を投じて建設を進めてきましたが、七月には計画戸数一千九百五十一戸の工事を完了する予定です。同事業会計の五十三年度予算是、収益的収入及び支出が一億二千六百五十六万円、資本的収入及び支出が九千八百七十九万円となっています。

資本的収入及び支出は、前年度の二億八千二百四十三万円と比べると大幅に減っています。これは、大部分の事業完了に伴い建設改良費が少なくなったためです。五十三年度は、下吉田地区と、上川辺地区の一部の管敷設、加圧ポンプ設備二カ所、消火せん十三基などの建設改良費九千八百七十万円などを計上しています。

建設事業を前面に 統合小・公園・道路

五十三年度予算では、統合小学校、公園、道路などの建設事業を前面に打ち出しました。これらを中心に、新年度のおもな事業を要約してみます。

用地造成など開始

54年9月開校目指す

統合小

統合小学校については、関係地主さんの協力を得て全予定地の買収を終えました。本年度は二億八千六百七十六万円の学校建設費を計上し、五十四年九月開校に向けて、いよいよ本格的な建設工事にかかります。内訳は、用地造成、排水路、道路整備費一億二千六百八十二万円、一千四百八十三平方㍍分の校舎建築工事費一億四千八百三十万円、用地費五十万円などです。

△川辺小学校南舎補修工事費||百万元
△中部中学校校舎外壁塗装工事費||三百三十万円
△同校排水工事費||二百二十五万円
△同校運動場散水せん設置、配管工事費||七十万元
△同校プールサイドコンクリート張り工事費||百九十万円
△準要保護児童・生徒就



上川辺地内の統合小学校建設用地

△学援助費||一百三十万円
△特殊教育就学奨励費||二十七万円
△県営川辺漕(そう)艇場第二艇庫塗装工事費||四十五万円
△子供遊園地備品購入費||四十万円

△川辺小学校南舎補修工事費||百万元
△中部中学校校舎外壁塗装工事費||三百三十万円
△同校排水工事費||二百二十五万円
△同校運動場散水せん設置、配管工事費||七十万元
△同校プールサイドコンクリート張り工事費||百九十万円
△準要保護児童・生徒就

△学援助費||一百三十万円
△特殊教育就学奨励費||二十七万円
△県営川辺漕(そう)艇場第二艇庫塗装工事費||四十五万円
△子供遊園地備品購入費||四十万円

△川辺小学校南舎補修工事費||百万元
△中部中学校校舎外壁塗装工事費||三百三十万円
△同校排水工事費||二百二十五万円
△同校運動場散水せん設置、配管工事費||七十万元
△同校プールサイドコンクリート張り工事費||百九十万円
△準要保護児童・生徒就

尿自動分析器具を購入

健康的な町づくりを進めるため、保健、予防衛生にも力を注ぎます。予防検診器具として尿自動分析器を五十九万円で購入するほか、県立健康院の受診に五十万円、高校生のインフルエンザ予防接種に五十万七千円の補助をします。そのほか、予防接種委託料百三十五万四千円、ガン検診委託料四十万円、成人病検診委託料三十一万二千円、結核検診委託料三十四万五千円などを計上しました。

母子推進員制度を発足

寝たきりのお年寄りのため、特に特殊ベッド一台を二十四万円で購入します。また、お年寄りの健康審査委託料五十八万円、老人クラブへの補助金百十万元、老人医療費二千九百二十三万二千円などを計上しました。また、本年度から母子保健推進員制度を発足させ、活動を開始します。

(関連記事⑥面に)

種子、肥料代に補助金

農業の近代経営への脱皮、省力化を図るための木曽川右岸用水事業と関連ほ場整備事業は、現在着々と進行中です。本年度は、雄鳥川改修に伴う用水路改良工事を二百万円かけて行います。

林業の振興を図るため、端洞などの林道開設工事を一千六十二万八千円で行う予定です。なお、一般会計から農業共済事業特別会計へ百三万一千円の繰り出しをします。

町勢要覧と議会会報を発行

「議会の活動状況を詳しく知りたい」という皆さんの要望に応えて、本年度から「川辺議会報」を発行します。同議会報は定期例会の審議状況、一般質問などを掲載して年四回発行するもので、印刷費五十六万円を計上

土木行政では、生活基盤の確立を図るための道路網の整備と山楠公園建設事業が中心になります。道路事業のおもなものは、次のとおりです。

公園 野球場建設に着手

吹洞線などを改良 道路

▽吹洞線道路改良工事費＝七百万元

▽主要幹線側溝新設工事費＝二千万元

▽神坂線町道取り付け改良工事費＝三百万円



本年度から野球場の建設にかかる山楠公園

▽下麻生道路工事費＝七百六十五万円
▽北小関連取り付け道路工事費＝六百五十万円
▽自転車道、歩道工事費＝九百万円

▽防護さく工事費＝四百万円
公園事業については、前年度にあずまやの建設と遊歩道の一部整備を終え、本年度から計画の中核となる野球場の建設工事にかかります。グラウンド造成、排水など

の工事費として八千五百万円、施設設計、用地測量などの委託料として百六十七万円、公園用地購入費、代替用地代として一千四百万円を計上しました。

このほか土木関係では、急傾斜地崩壊対策工事費三百萬円、見持、中川辺住宅屋根防水剤吹き付け工事費四百四十八万円、比久見住宅排水路工事費百二十万円などがあります。

の工事費として八千五百万円、施設設計、用地測量などの委託料として百六十七万円、公園用地購入費、代替用地代として一千四百万円を計上しました。

しました。また、町政の内容を町内外の人たちに紹介し、併せて行政への認識を深めていただき、町勢要覧と統計書を発行します。そのための予算を百十万元見込みました。

防犯灯10灯を13万円で

事故のない町にするためには、万全の交通安全対策が欠かせません。そのため、中学校生徒の通学保安帽、新入学児童の安全帽の購入に十五万一千八百五十円の補助をするほか、交通安全協会へ二十二万円の補助金を出します。また、防犯灯十灯を十三万円で新設します。

これまでに災害を受けた農林業施設の災害復旧工事費として四百五十万円、公共土木施設の災害復旧工事費として二百万元を計上しました。

災害復旧工事に650万円

消防活動の充実も、町の治安を向上させるため、消防力の一層の向上図る

消防活動の充実も、町の治安

『基本方針に変わりなし』

上米田小屋内体育館の

建設計画で町長が表明

町議会定例会の一般質問で、一月十日付発行、広報かわべ百六号のインタビュー記事「町長に聞く・新年度への展望は…」に関する質問がありました。

質問の要旨は、「この記事の中、上米田小屋内体育館建設計画についての記述があるが、これに関連して町長は（南舎の撤去は）中舎が補助対象になるまで持ち

こたえていきたい」と答えていました。このくだりを読むと、南舎を撤去して屋内体育館を建設する同時に、中舎も改築するというようにも受け取れるが、町長はこの点に関してどのように考えているのか」というもので、これに対し町長は次のように答えました。

南舎を撤去し、早い時期に屋内体育館を建設する、というのが基本方針だ。基本方針の中には、中舎の改築は含まれておらず、執行段階での基本線は当初から全く変わっていない。

を守るために必要なことです。

生活様式の多様化に伴い、消防の機動性が非常に重要なことがわかったことから、ポンプ付き積載車を二百四万五千円で購入します。このほか本年度は、消火せんホースなど消防備品の購入費百六十四万一千円、消防車庫詰め新設工事費二百二十万円などを計上。消防力の一層の向上を図り、町民の生命、財産を災害から守ります。



今後の活動内容などを話し合う母子保健推進員の皆さん=役場で

女性や乳幼児の保健指導をするため、町に母子保健推進員が誕生、三月二十七日に役場で委嘱式を行いました。推進員は▽結婚、妊娠、出産、育児に関する知識の

向上▽婚前学級、新婚学級への参加呼びかけ▽乳幼児の健康相談など、重点に、町が進めている各種検診、健康相談、訪問事業をより強化し、家庭に密着した活動

母子保健推進員が誕生

女性や乳幼児の健康指導重点に

をします。

委嘱式には、地区ごとに選ばれた推進員十人が出席。自己紹介のあと「定期的に会議を開き、検討し合う」などの活動方針を決め

坪内さんら 22人が入団

53年度消防団入退団式

五十三年度町消防団入退団式が四月一日、中部中グラウンドで行われ、団員として永年活躍した平岡照明さんら二十人が退団、坪内啓行さんら二十一人が入団しました。

式では、入退団者の辞令交付のあと、第一分団二部が小型ポンプ操法を披露。続いて新入団員の訓練が行されました。(敬称略)

新年度の消防団幹部、入退団者は次の皆さんです。(敬称略)

- 【幹部】▽分団長 栗山正道(第二分団) 前島智則(第四分団)
- ▽副分団長 佐伯敏明(第一分団) 水野宏(第二分団) 市岡克吉(同) 岩井一夫(第四分団) 前島達敏(同)

【入団者】▽団員 坪内啓行(第一分団一部) 則武秀雄(同) 吉川博俊(同) 篠田猛(同) 横田初男(同二部) 加藤春彦(同) 加藤宏幸(同) 矢島良晴(第二分団一部) 紅谷哲則(同) 渡辺政彦(同二部) 飯田房雄(同) 佐伯三津雄(第三分団一部) 佐伯定信



井戸団長から辞令を受ける新入団員=中部中グラウンドで

消防団の53年度 事業計画決まる

町消防団の五十三年度事業計画が次のとおり決まりました。(カッコ内は実施場所)

- ▽四月 町消防団入退団式(中部中) 郡幹部講習会(東白川村)
- ▽五月 郡操法大会(中部中) 郡ポンプ操法講習会(同)
- ▽七月 郡ポンプ操法大会(坂祝町) 町消防団夏季訓練(中部中)
- ▽八月 県消防操法大会(坂祝町) 町消防団秋季訓練(中部中)
- ▽九月 町消防団非常演習(未定)
- ▽十月 郡消防連合演習(白川町)
- ▽十一月 県消防大会(未定)
- 町消防団秋季訓練(中部中) 秋季防火運動(全国)
- ▽翌年一月 出初式(中部中)
- ▽二月 春季防火運動(全国)

ました。
推進員は次の皆さんです。(敬称略)カッコ内は担当地区)
井戸芳子(上川辺) 加藤せつ子(女神) 伊藤英子、垣下公子(中

川辺) 池田知子(西柄井) 桜井ナミエ(下川辺) 安田ヒサ子(鹿塙) 小森公子(福島・下飯田) 肥田幹子(比久見) 山田貞子(下吉田) 伊藤弘子(下麻生)

慶地軒用はん
萬前協賛

有効な土地利用のために

お節料理をかこんでことし最後の食事です。

家族全員が茶の間にあつまり、笑顔でことし一年の思い出ばなしにはなを咲かせるのです。一家の中心はことし八十四歳になる祖父です。

「家族全員、健康でよかったです」と祖父。

「ほんとに、来年も身体に気をつけて、がんばろうな」と父。そして私たちは笑顔でうなずき、母の味に舌づみをうつのです。

盃(さかづき)に、二、三杯のお酒に祖父も父も顔を赤くして祖父の若い頃(ころのこと)に、はなしがはずむのです。私はお節料理をたべながら「幸福」というのは、こういうもの

たろうと、心の中でつぶやくのでした。
以上は、昨年までのわが家の年
こし風景です。
ことしは祖父が風邪がもとで半
年ほど前から寝たつきの状態に
なってしまったのです。
だから、大晦日も祖父のない年
はじめました。祖父は、床の上に
おじいち
中部
こしでした。
何か大きな穴がぽっかりあいた
ようで、とてもさみしい思いでい
っぱいでした。
父が、「よし、おじいちゃんの
部屋でこことは年越しをやろう
な」と先に立ってお節料理を運び
はじめました。祖父は、床の上に

おじいちゃんもう一度

中部中三年・横山香織二福良



くし、大きな声でよく笑い私達（たち）一家はほんとうにしあわせそのものでした。

しかし、祖父が寝こんでからは、一抹（まつ）の暗い雲に時々おわれました。

元来健康そのものだった祖父は、寝つきりの生活が耐えられな

た。知らず知らずのうちに、家族の者の心はとげとげしくなってしまったのです。

私はつくづく思いました。健康とあるかということを……。

「八十四年も生きたんだから、いつ死んでもよい」と最近祖父

この作文は、日本WHO協会
が先ごろ行つた五十二年度全日本中学生作文コンクールで優秀
賞を獲得した作品です。

農業振興地域整備計画は四十九年に認可されました。この計画は、農地の宅地化、工業用地化などが進み、今後の農業に重大な影響を与えていていることから、有効な土地利用を図ることによって農業地域を明確にして、その健全な発展を図ろうとするものです。しかし、最近この地域内において、適切性を欠く農地転用がめだっています。

- ▽原則として転用が認められない農地

 - ① 農業公共投資の対象となつた地域（土地改良、農業構造改善の事業）
 - ② 農業生産力の高い農地
 - ③ 集団的に存在している農地
 - ▽関係機関と協議を要する農地

転用

 - ① 農業生産者などの生活上必要と認められる施設（倉庫、物置）
 - 用地で、住民の生活環境に悪影響

を及ぼさない農地転用

(2) 農業者が設置する農業のために使用する施設用地としての農地転用

③ 農用地を所有する農業者の住宅用地（農家住宅用地）としての農地転用

④ 農業施設を計画または実施するためには必要な施設用地としての農地転用

⑤ 以上の事項で、最少限度必要な面積の農地転用

農地転用が一、二年の間に必要

な人は、役場産業課と土地改良区で事前協議をしてください。

本年度の受け付けは6月末まで

この手続きは年一回で、相当期間がかかります。五十三年度の受け付けは六月三十日までですのでも、転用が必要な人は至急申し出してください。

詳しいことは役場産業課（電話2511）へおたずねください。



注意!

子供を交通事故から守るために、お母さんの保護が何より必要です。次のことをぜひ守ってください。

交通事故

おとながいつも監視を

子供の事故

るため、子供のくつやかばん、身の回りの物や自転車などにはスコッチ・テープを張り付けたり、反射するワッペンやタスキ、腕章などを着けさせるような配慮が大切です。

▽飛び出しをさせない

通り過ぎた車のすぐあとや、止まっている車の前後を渡ろうとして、反対側から来た車にはねられるのが、子供の事故の特徴です。

子供に対する安全のしつけは、横断する時は必ず「止まる」「左右を見る」ことの習慣付けから始まります。

▽横断歩道、歩道橋を利用せよ

遊びや使いに出すときは、行き先を確かめ、途中の道路の状況をよく考えて安全な道順を教え、横断歩道や歩道橋など安全施設の利用を習慣付けさせましょう。

水難事故

することは禁物です。車を運転する人は、子供を見たらず徐行、そして安全を見極め、ゆっくり進むことをぜひ守り、次のことも気をつけてください。

▽死角に注意

車を動かし始める時に、死角にいる子供を見逃して、ひいてしまう事故が意外に多いものです。必ず車の周りを確かめて、さらに運転席から見渡して出かける心掛けが大切です。

▽飛び出しに注意

保育園や小学校の近く、スクール・バスの横を通る時は、いつ子供が飛び出すかわかりません。細心の注意を払って通りましょう。

▽自転車や横断に注意

自転車に乗っている子供のなかには、急に進路を変えたり、車の直前を横切ったりすることがあります。子供の自転車乗りをみたら徐行し、一歩以上は間隔を開けましょう。

▽自転車に乗って遊ぶ

暖かい春の訪れとともに、子供たちが屋外で遊ぶ機会も多くなってきます。特にこの季節になると水もぬるみ始め、川や池などで魚とりや水遊びをする子供が増え、そのため水難事故も増加してきます。

▽安全な場所で遊ばせる

子供が遊ぶときは、そのことだけに夢中です。日ごろから安全な遊び場を教えてやり、心をそこを利用するよう見守ってください。子供に自転車を買ってやるときは、「もうしき大きくなるから」と、からだに合わないものを与えます。

▽正しい自転車の乗り方を

運転者から、歩行者は大変見えにくいものです。運転者に早く発見させることで、夜間、自動車の運転者から、歩行者は大変見えにくくなります。運転者は、夜光反射材を付けさせる。子供に自転車を買ってやるときは、「もうしき大きくなるから」と、からだに合わないものを与えます。

昨年も今ごろの季節(三一五月)には、小学生以下の子供の水難事故が県下で二十件発生、九人が死亡しました。これは子供の事故全體の三七・三%を占め、大半が保護者がちょっと目を離したときに自家付近の用水や池に転落したものでした。

大人から見ればなんでもない場所でも、幼児には危険個所であり、事故が潜んでる場合があるのです。自宅近くの用水、川、池などを再点検して、危険箇所があれば早速安全対策を講じ、それが不可能であれば、幼児を近づけないように注意したいものです。

昨年発生した幼児の水難事故の原因を調べてみると、次とおりです。

▽一人で遊んでいて 一〇件

▽保育園から帰宅途中 一件

▽小学生と遊んでいて 三件

▽庭の池や家の近くの用水などに転落している例が多く、四一六歳になると、近くの池や川で友達と一緒に魚とりや水遊びに夢中になつていて深みにはまつたり、誤って転落したりする事故がめだつています。

たとえ数分、数秒たりとも、決して油断は禁物です。

学級生521人に

農協婦人大学 “短大”から一步前進

農協婦人大学の五十三年度始業式が四月三日、農協会館ホールで行われました。同大学は昨年八月、婦人部短期大学としてスタート。本年度から婦人大学へと一步前進し、より活発な学習活動を進

めます。

「家庭婦人に勉強と仲間づくりの場を」というのが、同大学開設のねらい。前年度は三百十八人の学級生が入学。毎月一回、農業に関する講義を受けたり、料理、電気の知識などを

勉強してきました。「学んだ知識を実際に生かそう」と、比久見と上川辺の休耕地を利用した

共同菜園で、白菜やかぶら作りに励むグループも誕生しました。

本年度は、前年度より二百三人も多い五百二十一人の主婦が入学。本格的な学習の場に、と“学長”も新設しました。これまでの活動をさらに発展させるため、共同菜園を増やして三十



農協婦人大学の始業式である馬場和子学級長が農協会館で

かれて大豆作りを新たに始めるほか、文集制作なども計画しています。

この日の始業式には、学級生や

来ひん約二百人が出席。馬場和子学級長らがあいさつしたあと、けがや病気のときの看護や応急処置の仕方を勉強しました。

新年度の同大学役員は次のとおりです。（敬称略）

▽顧問 井上定美（農協組合

事）▽学長 太田持（同指導課

（中川辺上）平岩千恵子（同下）
安藤稻子（西柄井）桜井ナミエ
（下川辺）加藤清子（鹿塩）横山
康子（福島）馬場和子（比久見
上）加藤達子（同下）山田貞子
（下吉田）

（石神）桜井弘子（下同）加藤たね
（下麻生）長谷川いと子（上川辺）
桑田みき子（神坂）村山種子（右
神）▽常任学級委員 山田悦子

長）▽司事 加藤信子（同生活指
導員）▽学級長 馬場和子（比久
見）▽副学級長 村山種子（右
神）▽企画室長 長谷川いと子（上川辺）
同）木沢ゆき子▽第一同（第二
同）福田幸子▽上米田小養護婦
（中部中同）柳間イシ▽上米田
小校務員（調理員）小林民枝▽
調理主任（調理員）篠田千津子
▽調理副主任（調理員）井戸幸
枝▽企画室（新任）兼岩康志▽
住民課（新任）馬場美代志▽企
画室（新任）長谷川敬子▽産業
課（新任）曾我直美▽調理員（新
任）山口文江▽退職（上米田小
校務員）小栗かね

山楠公園題

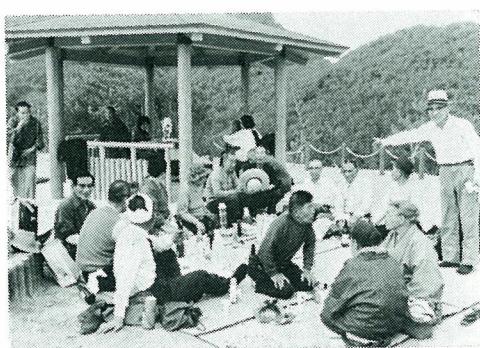
“あづまや”へ遠足

中川辺第四福祉寿会（栗山泰彦会長、六十三人）のお年寄りたちが四月十日、山楠公園にこのほど完成した“あづまや”まで遠足に出かけ、春の一日を楽しみました。（写真）

この遠足の話は、同福祉寿会が三月に行った総会の席で持ち上がりました。「公園にみんなで遊びに行こう」と、多数の会員が提案。その場で計画が具体化されました。当時は会員二十余人が参加。足の弱い会員の中には、「どうしても行きたい」と、家族が運転する車に乗って参加した人もいました。

ミニ・ニュース

兄弟そろって表彰
県養蚕連創立30周年記念式典で村山さんと井上さん



先ごろ岐阜市・産業会館で開かれた県養蚕連創立三十周年記念式典で、そろって表彰を受けた兄弟が町にいます。

この兄弟は、村山武雄さん（左）と井上増一さん（右）の二人。石神と井上さんは、井上さんの妻みつ子さん（左）と井上さんの妻みつ子さん（右）が実の姉妹で、二人は義兄弟に当たります。

村山さんは県養蚕連記念表

町職員の人事異動

四月一日付で、町職員の人事異動を次のとおり行いました。

（カッコ内は前所属・職名）

昭和53年5月1日発行

「火の守りは任せて」

下麻生の主婦らが消火訓練



消防団員に消火せんの扱い方を習う主婦の皆さん=下麻生で

初期消火は私たちの手で——と下麻生・下(した)町組の主婦約二十人が四月二日、同地区国道41号線沿いの空き地で消火訓練を行いました。

働きに行っている間に火事がある大変」と結束。自發的に訓練を計画しました。

当日は、前島智則分團長ら三人の消防団員にユーチュを依頼。消火せんに固定する差し込み金具の取り付け方、ホースの扱い方、かんそう(筒先)の持ち方などを勉強しました。

「これで初期消火は万全。留守は任せ」と、主婦の皆さんは胸を張っていました。

同地区には簡易水道の消火せんが設置されていますが、その扱い方を知らない人がほとんどで「いざという時に不安」という声も出していました。また一帯は民家が軒を連ねており、火災が起これば延焼によって大きな被害が出る恐れもあります。そのため「男の人

公園を桜の名所に

「昭和会」会員が植樹作業



山楠公園に桜などの苗木を植える昭和会の皆さん

山楠公園を桜で埋めよう——と、中川辺地区の有志で結成しているグループ「昭和会」(横田公一會長・五十人)の会員が三月二十一日、同公園内に桜などの苗木を植樹しました。同会が町内各所で植樹の奉仕作業を始めてから四年。「われわれの手で町を花で飾ろう」と、会员の夢は大きくふくらんでいます。

同会は、隣近所との付き合いを深め、一層の親ぼくを図ろう、と同地区的駅前、天王町、横町の世帯主が集まって五年前に結成されました。会の名前は全員が昭和生まれだったところから名付けられました。

結成当時は話し合ったり、一

公園への植樹は「町民憩いの場の建設にわれわれも一役」と計画をしました。この日植えたのは、同会の会費で購入した桜百二十本と、町から委託を受けたケヤキ、トチノ木など四十五本。数年後には花を付け、公園一帯を美しく飾ります。

杯飲んだりするだけの活動でしたが、そのうち会員の中から「何か町のためになることをしよう」という声が高まるようになり、植樹の奉仕活動へと発展しました。これまでにも漕(そう)艇場、小中学校、太部古天神社などで植樹を続け、施肥、消毒などの維持管理も行うなど、利用者に喜ばれています。

加藤保彦(西柄井)、野中三津夫(同)、林文夫(比久見)

軟式野球審判ク

町内で行われる野球大会の審判を専門的に行うため昨年発足した軟式野球審判クラブに、審判員として次の皆さんが新しく加入しました。これで同クラブのメンバーは十四人になりました。(敬称略)

彰、井上さんは県蚕糸振興協議会長表彰と名目は違いますが、ともに繭増産の功績が認められたものです。

加藤さんらが加入

豪から帰国

交換学生の佐藤さん

交換学生として昨年三月からオーストラリアに滞在、地元の高校で勉強していた佐藤尚子さん(ニセコ西柄井)は、同国での一年間の生活を終え、このほど帰国しました。

切手販売に功劳

白村さんに東海郵政局長賞

石神の白村辰四郎さん(七三)は通信記念日の四月二十日、東海郵政局長から表彰されました。白村さんは、父親藤吉さんの代から六十九年間にわたって郵便切手類の販売を行い、その功労が認められたものです。

ナイター試合を楽しむ野球同好会会員ら=中部中グラウンドで



野球シーズンが始まった。町内でも、中部中グラウンドなど各所で、プレーに熱中する人々の姿を見ることができる。

野球同好会（加藤勝富理事長）は、そんな“野球狂”たちの集まり。「チーム間のきずなを強め、自分たちの力で大会が開けるよう」にしようと五十一年四月、杉原勲さん（三西）＝比久見＝らが中心になつて発足した。

発足当時は十八チームだったが、野球熱が高まるにつれてチーム数も増加。現在は三十九チームが加入している。地区の仲間、職場の同僚、同級生などチーム構成もさまざまだ。

ことしの同好会の大きな事業は野球場造り。下川辺の大隅鋳造（杉山義朗社長）岐阜工場敷地の一部一万二千平方㍍を無償貸与してもらい、会員が整地した。四月下旬に完成。「グラウンドがほしいという夢がかなつた」と、会員



《15》

は大喜びだ。

同好会に入加入しているチームは次のとおり。（カッコ内は代表者
〔敬称略〕）

鉄友クラブ（青田久男）鹿塩（横田叡）中電（浅野勇）K・Y
クラブ（安江好行）ライン生コン（横関宏也）福島クラブ（奥田信
部和宏）加茂クラブ（杉原勲）大原（佐伯五生）乱麻（前島多賀夫）
鷹（安藤潤治）白馬（小川勝昭）佐伯綜合（高橋昇）ファイターズ
(岩田嘉多) ガルーダー(日下部
賢三) 新興クラブ(篠田孝逸) ブラザーズ(桜井勝英) 下川辺西(井
島豊春) エラーズ(赤坂政美) 大北(渡辺東支) 天神裏(成瀬修
三) 富士クラブ(加藤茂則) 白山(肥田昭男) 観音クラブ(有本澄
明) レッドスター(片桐周次) 龍(日下部武) 全建(遠藤照雄)
ファイヤーズ(吉田利幸) ジャニーズ(田原文治) エンゼルス(長
尾幸行) 下飯田(山田利夫) マックス(蟹江清) 川辺カヤバ(三
宅嗣雄) 岐阜スカイダース(木沢
広隆) キッス(鈴木常明) 商工会
青年部(肥田直敏) ボローズ(佐
伯馨三)



わたしたちの作品

かけ寄りて入試の合格告ぐる娘の
輝く頬に朝日の映ゆる

横山 寿子

冬庭のすみにちさき沈丁花
枝頭に赤き薔薇寄り添う

栗山 米子

仁徳の御代想いおりまな下の
町尋めきて色彩織りなせる

若井 国光

凍てし夜はただに冷たき星なるに
ロマンに輝くときもありたる

松岡 久美

郷土史研究 俱楽部を結成

鹿塩の文化財の究明を

「自分たちが生まれ育った郷土
を大切にしたい」——これが、井
戸さんが鹿塩地区に郷土史研究俱
楽部（くらぶ）を結成したそもそも
ものきっかけ。鹿塩独自の文化
を築き上げた祖先の供養もしなけ
れば」と、同地区的墓地の公園化
事業も中心になって進めた。

井戸さんは若いころから歴史に
深い興味を持ち、資料をコツコツ
と集めてきた。自宅には歴史・社
会・思想関係の書物がいっぱい。
町史編さん室の木下尚年さん（四九）
「中川辺」が「よくもこんなに集
めたもの」とびっくりするほど。

井戸喜一さん（七七）「鹿塩
の文化財の究明を

井戸さんが郷土史研究俱楽部を
結成したのはさる三月。結成當時
三人だった会員も、徐々に増えて
いる。同地区区長の安田光夫さん
(左)も協力を約束した。このほど
同俱楽部は、地区ぐるみの協力を
呼びかけたチラシを全戸に回覧
し、地区全体で文化財を保護して
いこう、という気運の盛り上がり
を期待している。

井戸さんの家族もよき理解者
だ。特に高校二年生の孫喜文君
(左)は、買ってくる本が歴史物ばかり。
「さすが私の孫」と、井戸さん
は目を細める。

「鹿塩の文化財を一つ一つ細か
く究明していくたい」と、井戸さ
んは張り切っている。

かけ寄りて入試の合格告ぐる娘の
輝く頬に朝日の映ゆる

横山 寿子

成人的式いでゆく息を送る
ひとすじの絆切れたる心地す

山田 君子

妖しきまで香水瓶は輝きて
我娘の異国の旅を匂わす

肥田 節子

つぎつぎと華麗に装ふマネキンの
心なき心ふと探りみる

遠藤 正枝

機関士の友送る宴だけなわに
夜汽車の響き遠ざかり行く

紅谷 茂

つぎつぎと華麗に装ふマネキンの
心なき心ふと探りみる

遠藤 正枝

昨日は、すべての新聞に毎日
といつていいくらい、健康（病
気も含めて）についての記事が
掲載されています。また、テレ
ビ・ラジオや専門誌などで
も、健康に関する情報が得
られ、知識吸収には事欠き
ません。

前回までは、成人病予防

のコツについて述べてきました
ので、ここでまとめて

みたいと思います。

成人病には高血圧、脳卒

中、糖尿病、胃・十二指腸

カイヨウ、肝臓病、心臓病、
ガンなどがあります。

▽ 成人病の特徴

① 自覚症状が少なく、知

らず知らずのうちにからだ

の中に入り込んでいます。

② 病気の原因が一つでな

く、いくつかの要因によっ

て起ころるものが多くあります。

③ なかなか治りにくく、ほお

つておくと症状がどんどん進ん

できます。

④ 病気になってしまふと、一

生涯生活の制限や医師の管理が

必要です。

⑤ 毎日の心掛け次第で、病気

健康のしおり

をくい止めることがあります。

▽ 健康管理の十ヵ条

① 年一回以上は定期検診を受
けましょう。定期的な健康診断
で、無症状のうちに病気を発見
しましょう。

② 暴飲暴食を避け、腹八分目
を守りましょう。

③ 十分な睡眠を規則正しくと
りましょう。

④ 毎日、からだに適した
運動を続けましょう。

⑤ バランスのとれた食事
を規則的にとりましょう。

⑥ 節煙に努力しましょう。
タバコは百害あって一
利なしです。

⑦ 何か症状のあるとき
は、早めに医師の診察を受
けましょう。軽い症状で
は最も危険です。服薬治療
をやめましょう。自己診断
をやめましょう。中の人
が自己診断で服薬を
受けてしまうと、病状
を悪化させた例があります。

⑧ 病気の治療は、必ず医
師の指示に従い、自己診断
をやめましょう。自己診断
をやめましょう。中の人
が自己診断で服薬を
受けてしまうと、病状
を悪化させた例があります。

⑨ 一人でよくよせず、ほが
らかに暮らしましょう。健康相
談をご利用ください。

⑩ 周りの人たちと協力して、
健康を守るために活動を進めま
しょう。

年一回以上は定期検診を

中止し、治療前より症状、病状
を悪化させた例があります。
⑨ 一人でよくよせず、ほが
らかに暮らしましょう。健康相
談をご利用ください。

⑩ 周りの人たちと協力して、
健康を守るために活動を進めま
しょう。

